

ばい煙発生施設設置(使用、変更)届出書

2 令和 ○年 4月 1日

静岡県知事 様

3 フリガナ 住所  
届出者 フリガナ 氏名  
〒○○○-○○○○  
シスオカシ  
静岡市○○区△△▲-▲  
○○フーズ カブシキカイシャ  
○○フーズ株式会社  
ダイトリマリアクシヤウ セイブ タロウ  
代表取締役社長 西部 太郎

氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名

{ 大気汚染防止法第6条第1項(第7条第1項、第8条第1項) 静岡県生活環境の保全等に関する条例第13条第1項(第14条第1項、第15条第1項) } の規定により、

ばい煙発生施設について、次のとおり届け出ます。

フリガナ	○○フーズ カブシキカイシャ ダイトリマリアクシヤウ	※整理番号	
工場又は事業場の名称	○○フーズ株式会社第1工場	※受理年月日	年 月 日
フリガナ	●●市○○町	※施設番号	
工場又は事業場の所在地	〒○○○-○○○○ ●●市○○町△-△	※審査結果	
ばい煙発生施設の種類	1. ボイラー	※備考	
ばい煙発生施設の構造	別紙1のとおり。		
ばい煙発生施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
ばい煙の処理の方法	別紙3のとおり。		

- 備考
- ばい煙発生施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行令別表第1及び静岡県生活環境の保全等に関する条例施行規則別表第1に掲げる項番号及び施設の名称を記載すること。
  - ※印の欄には、記載しないこと。
  - 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
  - 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。
  - 次の事項を記載した書類を添付すること。
    - ばい煙量又はばい煙濃度
    - ばい煙の排出の方法
    - ばい煙発生施設及びばい煙処理施設の設置場所
    - ばい煙の発生及びばい煙の処理に係る操業の系統の概要
    - 煙道に排出ガスの測定箇所が設けられている場合には、その場所
    - 緊急連絡用の電話番号その他緊急時における連絡方法

## 記載上の注意事項(様式第1)

①何の届出書かわかるようにしてありますか？

→該当しない字句は＝で消して届出の主旨を明らかにします。

大防法の場合

{~~設置(使用、変更)~~  
~~6条1項(7条1項、8条1項)~~}

県条例の場合

{~~設置(使用、変更)~~  
~~13条1項(14条1項、15条1項)~~}

{~~設置(使用、変更)~~  
~~6条1項(7条1項、8条1項)~~}

{~~設置(使用、変更)~~  
~~13条1項(14条1項、15条1項)~~}

{~~設置(使用、変更)~~  
~~6条1項(7条1項、8条1項)~~}

{~~設置(使用、変更)~~  
~~13条1項(14条1項、15条1項)~~}

②届出日を記入してありますか？

→市町に提出し、受理された日＝受付印の日付とします。

③届出者は適格者ですか？ 法人の場合住所は本社の場所を示していますか？

→以前の届出がある場合、それらに変更がないことをご確認願います。

→変更があった場合は別途氏名等変更届を提出する必要があります。

→代理人(工場長等)が届出する場合、委任状の添付がありますか？

→委任状は写しでかまいませんが、届出書3部にそれぞれ添付してください。

④工場・事業場の名称が正しく書かれていますか？

→届出するばい煙発生施設が設置される(されている)場所を示すものです。

→工場の場合は通常「〇〇会社〇〇工場」のようにします。

→以前の届出がある場合、名称に変更がないことをご確認願います。

→上記に変更があった場合は別途氏名等変更届を提出する必要があります。

(合併等による場合は氏名等変更届ではなく承継届を提出する場合があります)

⑤工場・事業場の所在地が正しく書かれていますか？

→届出するばい煙発生施設が設置される(されている)場所を示すものです。

→住居表示で示される地区は通常これを記入します。

→以前の届出がある場合、所在地に変更がないことをご確認願います。

→上記に変更があった場合は別途氏名等変更届を提出する必要があります。

(地番を住居表示に改めた場合も含めて)

⑥ばい煙発生施設の種別を正しく記入していますか？

→法施行令別表第1及び条例施行規則別表第1に掲げる項番号及び施設の名称を記載します。

→例 ○：「1. ボイラー」 ×：「吸収式冷温水発生器」

→項番号の異なる施設(＝種類の異なる施設)を一つの届出にすることはできません。

→大防法「5. 金属溶解炉」と県条例「2. アルミ溶解炉」の両方に該当する施設は例外です。

項番号と施設名を併記してください。該当法令を示すところも併記となります

## ばい煙発生施設の構造

		1		
工場又は事業場における施設番号	No.1 ボイラー			
名称及び型式	株) S社製 T-2000M			
設置年月日	年 月 日	}	年 月 日	
着手予定年月日	令和〇年 6月 5日		2	年 月 日
使用開始予定年月日	令和〇年 6月 10日			年 月 日
規 模	伝熱面積 (m <sup>2</sup> )	9.65	}	
	燃料の燃焼能力 (重油換算 ℓ / h)	128.0		
	原料の処理能力 (t / h)			
	火格子面積又は 羽口面断面積 (m <sup>2</sup> )			
	変圧器の定格容量 (KVA)			
	触媒に付着する 炭素の燃焼能力 (kg / h)			3
	焼却能力 (kg / h)			
	乾燥施設の容量 (m <sup>3</sup> )			
	電気容量 (KA)			
	ポンプの動力 (KW)			
合成・漂白・濃縮能力 (kg / h)				

- 備考
- 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
  - 2 規模の欄には、大気汚染防止法施行令別表第1の中欄に掲げる施設の当該下欄に規定する項目について記載すること。
  - 3 ばい煙発生施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本工業規格A4の大きさに縮小したものまたは既存図面等を用いること。

## 記載上の注意事項(別紙1)

①別紙1～3は1ページに2列の記入欄があります。

- ・設置届出書・使用届出書の場合は2つのばい煙発生施設について記入できます。3つ以上記載する時は適宜書式を追加してください。
- ・変更届出書の場合は2列の記入欄の左側を変更前、右側を変更後とし、1つのばい煙発生施設の変更前後の数値・名称等を左右対照で記載してください。変更届出書の場合は別紙1～3を1つのばい煙発生施設につき1ページ用いることになります。

②日付の欄は届出の種類により記入する欄が異なるので注意してください。

- ・設置届出書の場合には、着手予定年月日及び使用開始予定年月日を記入してください。
- ・使用届出書の場合には、設置年月日を記入してください。
- ・変更届出書の場合には、変更前の列に設置年月日、変更後の列に着手予定年月日及び使用開始予定年月日を記入してください。  
(変更届に記入する設置年月日→当該施設の設置届の着手予定年月日、もしくは使用届の設置年月日を転記してください)

③大気汚染防止法のばい煙発生施設では、同法施行令別表第1に示された当該届出施設に係る規模、静岡県生活環境の保全等に関する条例のばい煙発生施設では、同条例別表第1に示された当該届出施設に係る規模について記入してください。

(施設の仕様書・カタログ等を参考にするか、メーカー等に問い合わせて記載してください。)

- ・バーナーの燃料の燃焼能力は重油換算で記入してください。その際、液体燃料10L、ガス燃料16m<sup>3</sup>、固体燃料16kgがそれぞれ重油10Lに相当するものとして換算値で記載してください。
- ・ボイラーの場合には「伝熱面積」及びバーナーの「燃料の燃焼能力」について記載してください。
- ・廃棄物焼却炉の場合には「火格子面積」と「焼却能力」を記載してください。ただし、火格子に相応する構造のない施設では焼却能力のみ記入してください。  
焼却能力とは炉投入時の状態で表した最大の焼却物重量(含水重量)です。絶乾重量(乾燥重量)を併記する場合は誤解のないようにしてください。

(例) 焼却能力700 kg/hで水分70%の場合には「700 kg/h(絶乾210 kg/h)」と記載してください。  
付設の乾燥設備により予め焼却物を乾燥した後炉に投入する焼却炉では、焼却能力を乾燥後の焼却物重量により表してください。

工場又は事業場における施設番号		No.1 ボイラー					
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	7時～20時 13時間/回 1回/日 23日/月			1	時～時 回/回/日 日/月	
	季節変動	なし					
原材料 (ばい煙の発生に影響のあるものに限る。)	種類				2		
	使用割合						
	原材料中の成分割合(%)	いおう分 カドミウム分	鉛分 弗素分	いおう分 カドミウム分		鉛分 弗素分	
	1日の使用量						
燃料又は電力	種類	A重油			3		
	燃料中の成分割合(%)	灰分 0.01	いおう分 1.00	窒素分 0.03		灰分 いおう分 窒素分	
	発熱量	10,075 Kcal/L					
	通常の使用量	102.4 L/時					
	混焼割合	重油専焼					
排出ガス量 (Nm <sup>3</sup> /h)	湿り	最大 1,651	通常 1,320	最大	通常		
	乾き	最大 1,486	通常 1,188	最大	通常		
排出ガス温度(℃)		110					
排出ガス中の酸素濃度(%)		4.0					
ばい煙の濃度	ばいじん (g/Nm <sup>3</sup> )	最大 0.20	通常 0.20	最大	通常		
	いおう酸化物 (容量比ppm)	最大 518	通常 518	最大	通常		
	カドミウム及びその化合物 (mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常	最大	通常		
	塩素(mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常	最大	通常		
	塩化水素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常	最大	通常		
	弗素、弗化水素及び弗化珪素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常	最大	通常		
	鉛及びその化合物 (mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常	最大	通常		
窒素酸化物 (容量比ppm)	最大 120	通常 120	最大	通常			
ばい煙量	いおう酸化物 (Nm <sup>3</sup> /h)	最大 0.771	通常 0.771	最大	通常		
参考事項							

備考 1 原材料中の成分割合(%)の欄及び燃料中の成分割合(%)の欄に記載にあつては、重量比%又は容量比%の別を明らかにすること。

2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。

3 ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度とすること。

4 参考事項の欄には、ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出量の変動の状況、窒素酸化物の発生抑制のために採っている方法を記載するほか、ガスタービン、ディーゼル機関、ガス機関又はガソリン機関については、常用又は非常用(専ら非常時において用いられるものをいう。)の別を明らかにすること。

## 記載上の注意事項(別紙2)

- ① 季節変動がある場合には「あり(□月ー△月)」のように記入し、使用時期を明らかにしてください。施設を休止する場合には、使用時間が0時間になる旨を記載して下さい。これまでの使用時間から「0時～0時」に使用時間を変更する。
- ②
- ・成分割合(%)の記載にあたっては、重量比(%)又は容量比(%)の別を明らかにしてください。
  - ・燃料中の成分割合については、供給元の発行する分析表(成分表)等を参考にして記載してください。その際におう分については、購入燃料のいおう分が常に届出記載値を上回ることがないように考慮して記載してください。また、ばい煙計算書においてもこの値を適用してください。  
(例) 購入燃料のいおう分は平均で約0.8%だが、±0.1%程度ばらつくと思込まれる場合は、いおう分1.0%と記載し(0.8+0.1<1.0)、ばい煙計算書でも1.0%としていおう酸化物排出量等を算出してください。
  - ・原材料中の成分割合については適宜分析結果、文献等により根拠を示してください。
- ③
- ・いずれも大気中への排出口での状況を記載してください。
  - ・排出ガス量は湿りガス量と乾きガス量を記載してください。
  - ・排出ガス量は燃焼計算等により記載してください。ただし、誘引ファン等が設置されている場合は、ファン能力等考慮して排出ガス量を算定してください。
  - ・ばい煙の濃度は乾きガス中の濃度としてください。なお、「最大」とはばい煙の濃度が変化する場合において、発生するばい煙の濃度の最大値です。また「通常」とは、通常的に排出されるばい煙の濃度の値です。
  - ・規制対象物質については必ず記載してください。
  - ・ばい煙処理施設がある場合は処理後の濃度で記入してください。
  - ・「ばい煙濃度、ばい煙量」は、「ばい煙計算書、ばい煙保証書」等を参照して記載してください。  
(1) 排出基準が補正濃度(規定の標準酸素濃度で補正した濃度)で示される項目は補正濃度を記載してください。

(2) いおう酸化物ばい煙量(Nm<sup>3</sup>/h)

$$=0.7 \times \text{燃料の燃焼能力} \times \frac{\text{燃料中のいおう分(重量比\%)}}{100} \times \left( 1 - \frac{\text{脱硫効率(\%)}}{100} \right)$$

ばい煙の処理の方法

ばい煙処理施設の工場又は事業場における施設番号		No.1 煙突		1
処理に係るばい煙発生施設の工場又は事業場における施設番号		No.1 ボイラー		
ばい煙処理施設の種類、名称及び型式		煙突		
設置年月日		年 月 日	年 月 日	2
着手予定年月日		令和〇年 6月 5日	年 月 日	
使用開始予定年月日		令和〇年 6月 10日	年 月 日	
処理能力	排出ガス量 (Nm <sup>3</sup> /h)	最大	1,651	3
		通常	1,320	
	排出ガス温度 (℃)	処理前		
		処理後		
	ばいじん (g/Nm <sup>3</sup> )	処理前		
		処理後		
	いおう酸化物 (容量比ppm)	処理前		
		処理後		
	カドミウム及びその化合物 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前		
		処理後		
	塩素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前		
		処理後		
	塩化水素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前		
		処理後		
	弗素、弗化水素及び弗化珪素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前		
処理後				
濃度 鉛及びその化合物 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前			
	処理後			
窒素酸化物 (容量比ppm)	処理前			
	処理後			
ばい煙量 (Nm <sup>3</sup> /h)	最大	処理前		
	通常	処理前		
捕集効率(%)	ばいじん	処理前		
	いおう酸化物	処理前		
	カドミウム及びその化合物	処理前		
	塩素	処理前		
	塩化水素	処理前		
	弗素、弗化水素及び弗化珪素	処理前		
	鉛及びその化合物	処理前		
	窒素酸化物	処理前		
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	7時~ 20時 13時間/回 1回/日 23日/月	4時~ 回/日 日/月	
排出口の実高さ及び内径H <sub>o</sub> ×D (m)			5	
陣笠の有無				
補正された排出口の高さH <sub>e</sub> (m)				
排出速度 (m/s)				

備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。

3 補正された排出口の高さH<sub>e</sub>は、大気汚染防止法施行規則第3条第2項及び静岡県生活環境の保全等に関する条例施行規則別表第2の1の注(3)の算式により算定すること。

4 ばい煙処理施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付すること

### 記載上の注意事項(別紙3)

①上の3つの欄は記入する事項を誤りやすいので注意してください。

上から順番に、

- ・処理施設 (記載例では煙突) の施設番号
- ・ばい煙発生施設 (記載例ではボイラー) の施設番号 (←別紙1・2の工場又は事業場における施設番号欄と整合させてください。)
- ・処理施設の種類 (記載例では煙突ですが、電気集じん機、バグフィルター、サイクロン、スクラバー等の廃ガス処理装置を有する場合はその名称、型式等を記入してください。)

②別紙1と同様に記入してください。

- ③
- ・ばい煙処理施設が設置されていない場合は記載不要です。
  - ・ばい煙処理施設が煙突だけの場合、排出ガス量欄に別紙2の湿り排出ガス量を記載してください。
  - ・ばい煙処理施設が設置されている場合
    - (1) 排出ガス量欄は別紙2の湿り排出ガス量を記載してください。
    - (2) 排出ガス温度欄の処理後の数値は、別紙2の排出ガス温度と同じ値を記入してください。
    - (3) ばい煙の濃度、ばい煙量及び補集効率は、ばい煙処理施設により処理される物質について記載してください。なお、ばい煙の濃度及びばい煙量の記載値は該当物質について処理前、処理後の値と補集効率との間に整合性があり、かつ処理後の値は別紙2のばい煙の濃度及びばい煙量の最大値と同一の値を記入してください。

④ 別紙2の使用状況欄と整合させてください。

- ⑤  $H_o$ は地面 (GL) から排出口頂部までの高さ、 $D$ は排出口頂部の内径を記入してください。排出口頂部が丸でなく角型の場合、 $0.5 \times 0.7$ □ ( $0.5 \times 0.7$ mの角断面) のように記入してください。  
なお、補正された排出口の高さ $H_e$ は、大気汚染防止法施行規則第3条第2項の計算式により算定してください。ただし、陣笠のある場合には $H_e = H_o$ となります。(排出口が横向きの場合も陣笠ありとしてください)

$$\text{排出速度} = \text{湿りガス量} \times \frac{273 + (\text{排ガス温度}^\circ\text{C})}{273} \times \frac{1}{3600} \times \frac{1}{\pi r^2}$$

$$\text{ただし } r = \frac{\text{排出口の頂上内径}}{2}$$

参考事項 (項目選定のものは、該当項目を○で囲むこと。)

記載例

資本金	① 10,000千円	従業員数	100人
主要製品	冷凍機部品	敷地面積	m <sup>2</sup>
都市計画法による用途地域	工業専用地域	建物面積	m <sup>2</sup>
担当部署	生産管理課	電話番号	市外 ( )
フリガナ	イチロウ	フリガナ	サトウ イチロウ
担当者	浜松 一郎	公害防止管理者	浜松 一郎
付近の見取図 (案内図)	下記のとおり・ <u>別添のとおり</u>	メッシュ番号	②
除じん方法	} ③		
窒素酸化物対策			
排煙脱硫の方法 (具体的に)			
他法令による許可・届出の状況 (手続)	事前協議 (静岡県生活環境の保全等に関する条例)	④ 不要・未了・完了	( 年 月 日 提出 年 月 日 許可・受理 )
	電気事業法	④ 不要・未了・完了	( 年 月 日 提出 年 月 日 許可・受理 )
		不要・未了・完了	( 年 月 日 提出 年 月 日 許可・受理 )
		不要・未了・完了	( 年 月 日 提出 年 月 日 許可・受理 )
環境マネジメントシステム導入の有無 (自社構築を含む)	無・有	審査登録 機関名 : 自社構築	年 月 日 登録・構築
⑤			

#### **記載上の注意事項(参考事項)**

- ① 資本金以外は、当該ばい煙発生施設を設置する工場及び事業場の状況を記載してください。
- ② メッシュ番号は記載しないでください。
- ③ 該当する事項について具体的に記入してください。
- ④ 当該届出と関連のある法令の許可・届出の状況を適宜記入してください。  
また、ISO14001等の認証取得により環境マネジメントシステムが導入されている場合は該当事項を記入してください。
- ⑤ 当該届出を提出するに至った事由、従来との変更箇所等を記入してください。